



# 出前講座報告書vol.2



2014年9月30日 郡山市保健所

## テーマ

### 「原発事故とメンタルヘルス」



講義をする鈴木先生

テーマは「原発事故とメンタルヘルス」に関してでした。主な講話内容は、①過去の知見（スリーマイル、チェルノブイリにおけるメンタルヘルス）、②福島県県民健康調査の結果（SDQ、K6、PCL）、③リスクコミュニケーションの留意点（不安障害・急性ストレス反応への対応等）の3点でした。



グループでカテゴリー化する

## グループワーク

3グループ（1グループ4人）に分かれて①学んだことで特にお気に入りのこと、②得た新しい情報、③学んだことで、将来使いたいこと、④学んだことで、役立ちそうにないこと、⑤すぐ使える新しい技術の5つについて付箋紙に各自3枚程度書き、グループ内で同じ内容のものをカテゴリー化しました。その後、発表を行い、参加者全員で学びを共有しました。多く挙げられた意見は、①傾聴時の沈黙は焦らなくてもよい、②急性ストレス反応への初期対応で、話したいならば話させるが、話すように促すことはしないこと、③種々の思考パターンがあること（白黒つける・～すべき思考・最悪の出来事を考えがち）、④顔の見える支援が大切であること等でした。



各グループで発表

## アンケート集計結果

参加者数は12人でした。

| 評価項目  | 「(大いに) そう思う」<br>N=12 |
|---|----------------------|
| 研修の資料や進行について<br>配布資料は適切だった<br>時間配分は適切だった<br>進行は適切だった      | 100%<br>92%<br>100%  |
| 第一部の講義について<br>原子力災害とメンタルヘルスについて理解できた<br>講義は今後の保健活動に役立つと思う | 92%<br>100%          |
| 第二部の話し合いについて<br>話し合いは今後の保健活動に役立つと思う                       | 100%                 |

## 編集後記

今回の出前講座は、「講義で学んだこと」をまとめる作業が大変なほどに、様々な学びがありました。特に、リスクコミュニケーションの留意点では、話を聞くときの不安感や恐れへの対応方法など、今後の保健活動に役立てられる内容が多く含まれているように感じました。

郡山市での出前講座は初めてということもあり、スタッフも少し緊張をしていました。しかし、郡山市保健所の皆様に暖かく迎えていただき、無事に出前講座を終えることが出来ました。これからもご要望に応じて出前講座を続けていきますので、どうぞよろしくお願い致します。  
(公衆衛生 伊藤)

